

青森県経済統計報告

平成17年 8月 2日

企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成17年7月1日現在）…………… 1

県人口 1,440,721人（対前月668人減少、対前年同月11,728人減少）

自然動態 320人減少（出生者数831人、死亡者数1,151人）

社会動態 348人減少（転入者数1,434人、転出者数1,782人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済の動向は、一部にやや改善の兆しがみられるものの、全体として依然厳しい状態にある。

（2）主要経済指標の動向

（2-1）製造業の 平成17年5月の青森県鉱工業生産指数（平成12年=100）は、季節調整済 …… 2

生産動向 指数が87.3で、前月比10.3%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は88.0で、前年同月比6.4%の低下となり、2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

（化学工業を除いた指数では、季節調整済指数が88.2で、前月比9.1%の低下（3ヶ月ぶり）、原指数が86.1で、前年同月比8.4%の低下（3ヶ月ぶり）となった。）

（2-2）雇用情勢 平成17年5月の現金給与総額は235,498円で前年同月比1.7%減となっ …… 3

た。このうち、定期給与は234,015円で0.3%増となった。総実労働時間は、151.0時間で前年同月比0.5%増となり、所定外労働時間は9.2時間で前年同月比4.6%増となった。

平成17年6月の有効求人倍率（季節調整値）は0.39倍で、前月を0.01ポイント上回った。

（2-3）物価 平成17年6月の青森市消費者物価指数は、102.1となり、前月と比べ0.7% …… 4

の下落、前年同月と比べ0.5%の下落となった。

（2-4）個人消費 平成17年5月の大型小売店販売額は144億7千2百万円で、前年同月比 …… 5

3.1%減となった。

平成17年6月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,088台で、前年同月比1.5%の増となり3ヶ月連続で前年を上回った。

（2-5）住宅建設 平成17年6月の新設住宅着工戸数は690戸で、前年同月比8.9%減とな …… 6

り、6ヶ月連続で前年を下回った。

（2-6）公共投資 平成17年6月の公共工事請負金額は、前年同月比18.0%減となった。 …… 6

（3）景気動向指数（平成17年5月分）…………… 7

先行指数 55.6%（2か月連続で50%を上回った）

一致指数 77.8%（6か月連続で50%を上回った）

遅行指数 33.3%（2か月連続で50%を下回った）

（4）青森県景気ウォッチャー調査（平成17年7月期）…………… 8

3ヶ月前と比べた景気の現状判断DI…42.6（前期比1.2ポイント増、17期連続50を下回る）

3ヶ月後の景気の先行き判断DI…46.4（前期比2.5ポイント増、5期連続50を下回る）

1 青森県の推計人口（平成17年7月1日現在）

【概況】

平成17年7月1日現在の本県推計人口は、1,440,721人で、前月に比べ668人の減少、前年同月に比べると11,728人の減少となった。

○自然動態

出生者数が831人、死亡者数が1,151人で、320人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,434人、転出者数が1,782人で、348人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数	自然増減数		社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女				出生者数	死亡者数			
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
16.7.1	1,452,449	688,905	763,544	-0.027%	-395	-79	985	1,064	-316	1,413	1,729
16.8.1	1,451,562	688,424	763,138	-0.061%	-887	-134	993	1,127	-753	1,921	2,674
16.9.1	1,451,461	688,505	762,956	-0.007%	-101	-249	1,008	1,257	148	2,449	2,301
16.10.1	1,450,947	688,209	762,738	-0.035%	-514	-120	986	1,106	-394	1,618	2,012
16.11.1	1,450,734	688,048	762,686	-0.015%	-213	-258	911	1,169	45	1,791	1,746
16.12.1	1,450,219	687,716	762,503	-0.035%	-515	-300	965	1,265	-215	1,431	1,646
17.1.1	1,449,732	687,374	762,358	-0.034%	-487	-343	879	1,222	-144	1,275	1,419
17.2.1	1,448,945	686,936	762,009	-0.054%	-787	-507	913	1,420	-280	1,237	1,517
17.3.1	1,448,216	686,552	761,664	-0.050%	-729	-339	849	1,188	-390	1,233	1,623
17.4.1	1,441,447	682,719	758,728	-0.467%	-6,769	-668	854	1,522	-6,101	4,133	10,234
17.5.1	1,441,973	683,207	758,766	0.036%	526	-476	818	1,294	1,002	4,425	3,423
17.6.1	1,441,389	682,825	758,564	-0.041%	-584	-301	956	1,257	-283	1,693	1,976
17.7.1	1,440,721	682,329	758,392	-0.046%	-668	-320	831	1,151	-348	1,434	1,782

6月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平8.6	9.6	10.6	11.6	12.6	13.6	14.6	15.6	16.6	17.6
自然動態	出生者数	1,154	1,169	1,220	1,160	1,142	1,005	967	992	985	831
	死亡者数	933	970	1,041	1,034	971	1,008	1,011	1,045	1,064	1,151
	自然増減数	221	199	179	126	171	-3	-44	-53	-79	-320
社会動態	県外からの転入者数	1,587	1,648	1,604	1,554	1,567	1,451	1,406	1,559	1,413	1,434
	県外への転出者数	1,559	1,568	1,566	1,533	1,653	1,658	1,655	1,637	1,729	1,782
	社会増減数	28	80	38	21	-86	-207	-249	-78	-316	-348

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成16年7月1日から平成17年7月1日までの人口は平成12年国勢調査人口(確定値)を基礎に推計している。

※3 増減数は、平成2、7、12年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口=前月の人口+自然増減数(出生者数-死亡者数)+社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数)

※5 これまで社会動態の算定には、県間移動数に加え県内市町村間移動数も含めていたが、県内市町村間移動者数を含め

ないこととし修正を行なったことから、過去の公表数値と異なっている。

※6 県の推計人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総計とは一致しない。

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

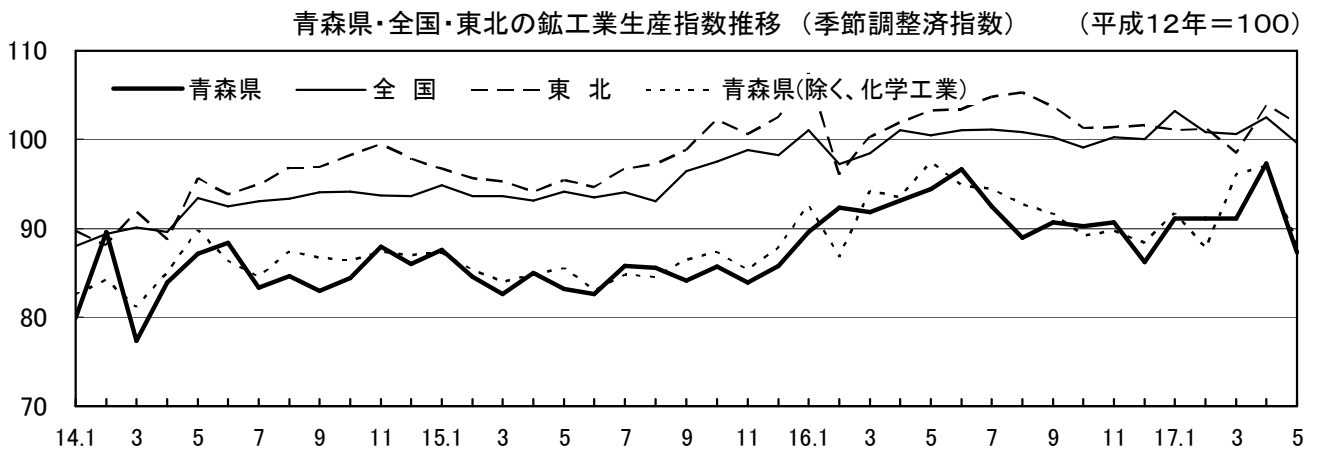
(2-1) 製造業の生産

平成17年5月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が87.3で、前月比10.3%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は88.0で、前年同月比6.4%の低下となり、2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電気機械工業、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品工業などが上昇に寄与した一方、一般機械工業、食料品工業、精密機械工業などが低下し、鉱工業全体では10.3%の低下となった。

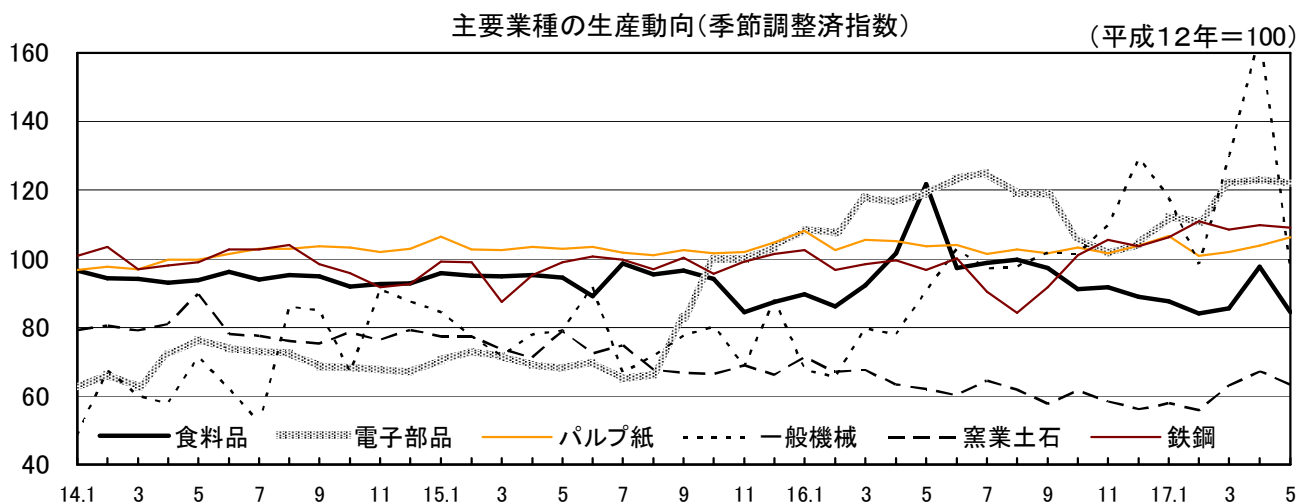
(化学工業を除いた指数について)

季節調整済指数が88.2で、前月比9.1%の低下(3ヶ月ぶり)、原指数が86.1で、前年同月比8.4%の低下(3ヶ月ぶり)となった。



◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 -10.3%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
電気機械工業	9.3	7.6	一般機械工業	-41.0	-57.7
繊維工業	11.5	4.9	食料品工業	-13.4	-48.0
パルプ・紙・紙加工品工業	2.4	2.9	精密機械工業	-8.6	-3.8
化学工業	2.4	1.5	窯業・土石製品工業	-5.7	-3.1
輸送機械工業	6.8	1.3	石油・石炭製品工業	-55.0	-2.6



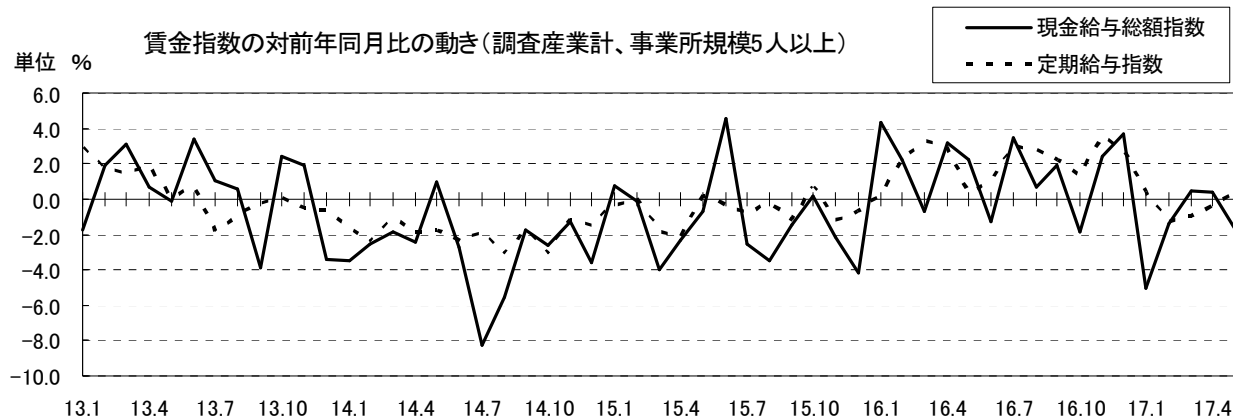
資料: 県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成17年5月の現金給与総額は235,498円で現金給与総額指数(平成12年=100)では81.6となり、前年同月比1.7%減となった。このうち、定期給与は234,015円で定期給与指数では98.6となり、前年同月比0.3%増となった。実額で比較した定期給与の全国対比は86.3となった。

所定外労働時間は9.2時間で、所定外労働時間指数では107.0となり、前年同月比4.6%増となった。

平成17年6月の有効求人倍率(季節調整値)は0.39倍で、前月より0.01ポイント上回った。



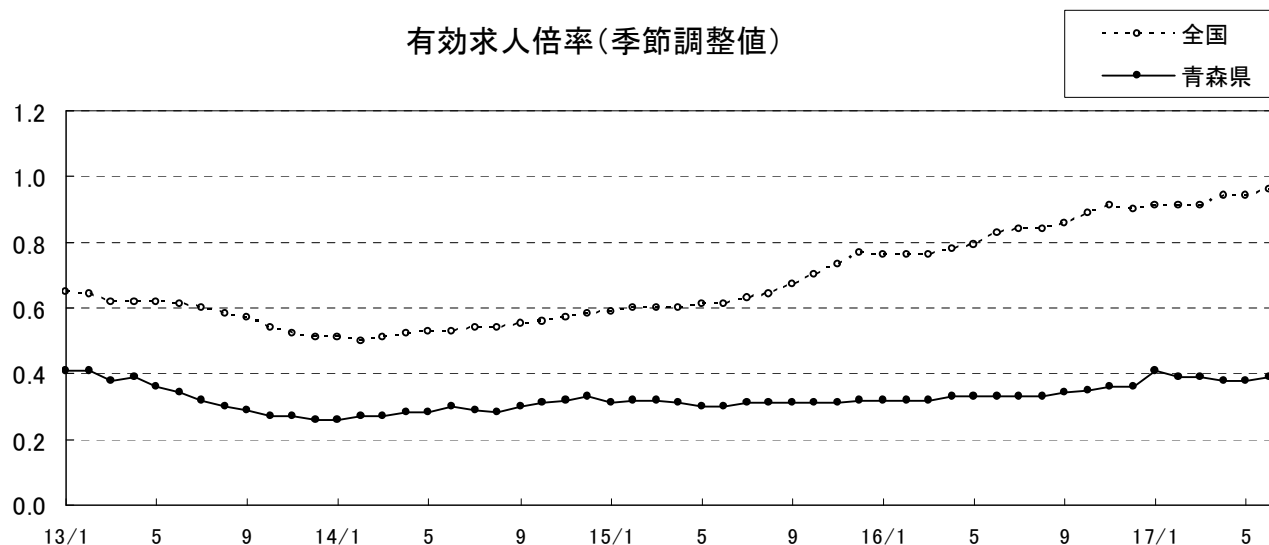
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	235,498 円	276,908 円	81.6	78.4	-1.7 %	0.6 %
定期給与	234,015 円	271,075 円	98.6	96.1	0.3 %	0.6 %
特別給与	1,483 円	5,833 円	—	—	—	—
総実労働時間	151.0 時間	143.8 時間	95.3	93.4	0.5 %	0.0 %
所定内労働時間	141.8 時間	133.8 時間	94.6	92.9	0.3 %	0.0 %
所定外労働時間	9.2 時間	10.0 時間	107.0	102.0	4.6 %	1.0 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

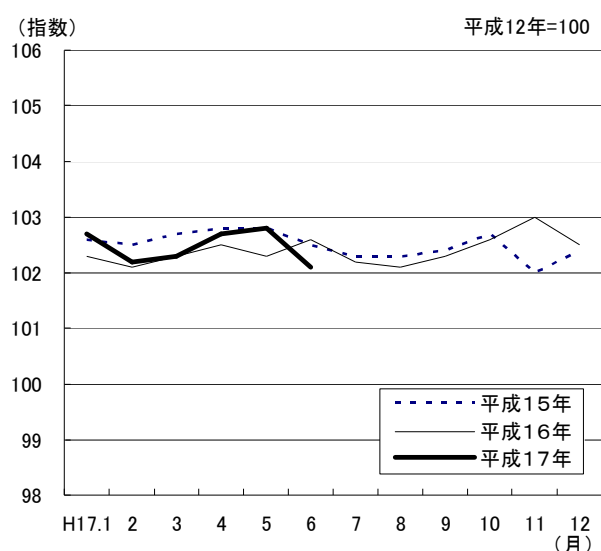
平成17年6月の青森市消費者物価指数（平成12年=100）は、総合指数が102.1となり、前月と比べ0.7%の下落、前年同月と比べ0.5%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.8となり、前月と比べ0.2%の下落、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。

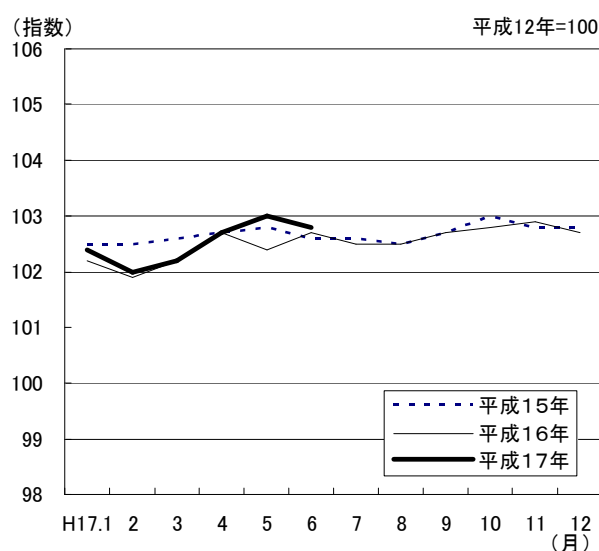
総合指数の前月比が0.7%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料の下落が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ0.5%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料、教養娯楽の下落が要因となっている。

総合指数の動き



生鮮食品を除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成12年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家 賃を除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・ 水道	家 具 ・ 家 用 事 品	被 及 履 き 物	服 び 物	保 健 療 養	交 通 ・ 信 通	教 育	教 娯 楽	諸 雑 費
当月指数	102.1	102.8	97.4	96.9	89.5	122.7	105.2	79.2	89.8	104.1	96.8	110.9	88.5	99.3	
前月比 (%)	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 2.5	▲ 11.2	0.0	▲ 0.2	0.8	▲ 0.7	▲ 0.1	0.2	0.0	▲ 0.3	▲ 0.3	
寄与度	▲ 0.70	▲ 0.18	▲ 0.75	▲ 0.69	▲ 0.58	0.00	▲ 0.02	0.02	▲ 0.04	▲ 0.00	0.02	0.00	▲ 0.03	▲ 0.01	
前年 同月比 (%)	▲ 0.5	0.1	▲ 1.0	▲ 3.5	▲ 10.9	1.3	4.1	▲ 2.2	▲ 1.8	▲ 0.1	▲ 0.9	1.8	▲ 1.4	1.1	
寄与度	▲ 0.50	0.09	▲ 0.83	▲ 0.96	▲ 0.57	0.33	0.33	▲ 0.06	▲ 0.10	▲ 0.00	▲ 0.10	0.07	▲ 0.12	0.05	

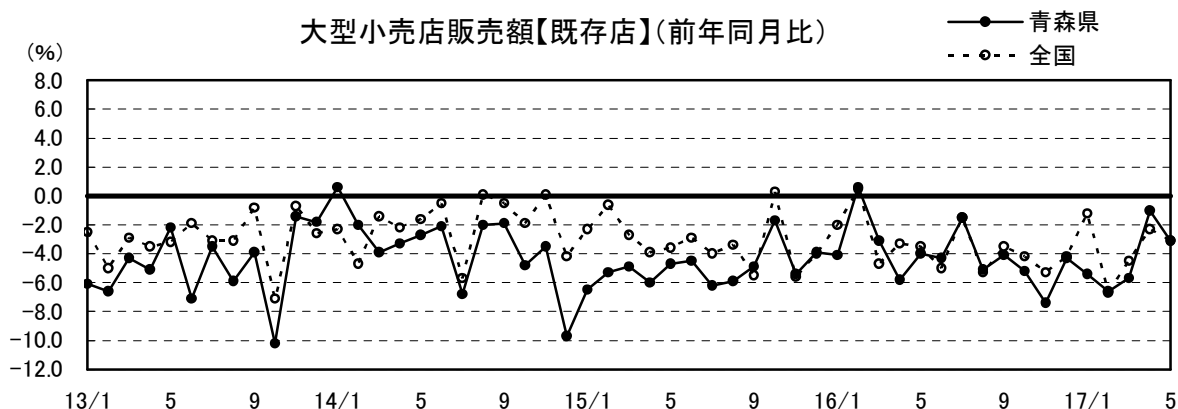
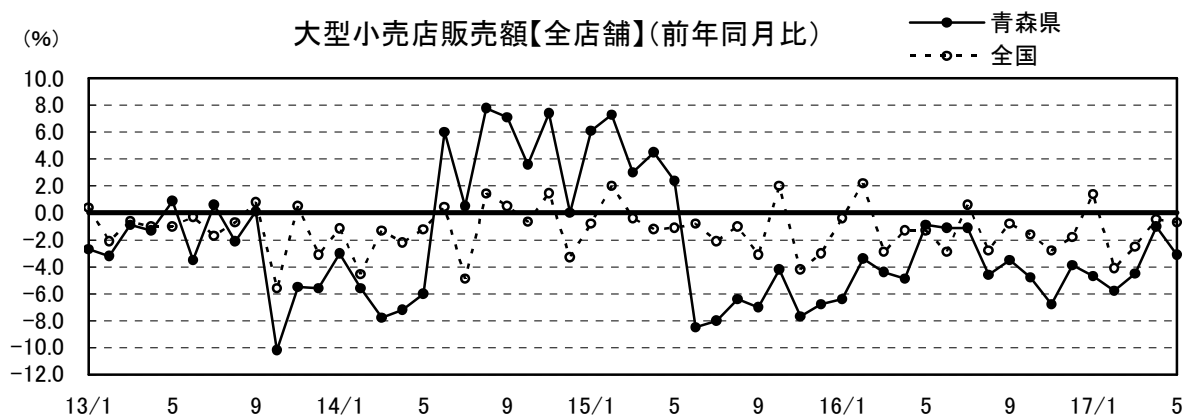
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」（速報）

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

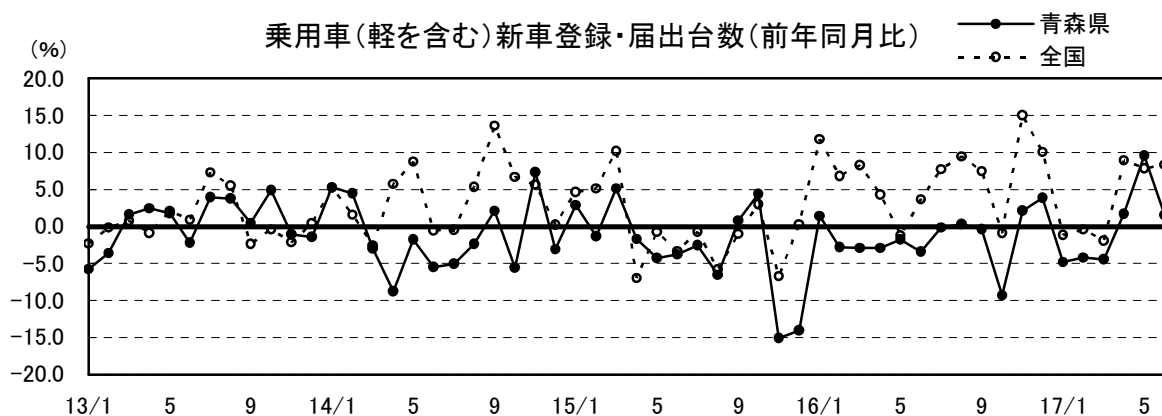
平成17年5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.1%減の144億7千2百万円で全店舗ベースが24ヶ月連続、既存店ベースが15ヶ月連続のマイナスとなった。飲食料品が横ばいだったものの、衣料品等その他商品がマイナスだったため、前月と比べマイナス幅がやや拡大した。

平成17年6月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,088台で、前年同月比1.5%増となり3ヶ月連続で前年を上回った。要因としては、普通乗用車と軽自動車が2ヶ月ぶりにマイナスになったが、小型乗用車が5ヶ月連続でプラスだったことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

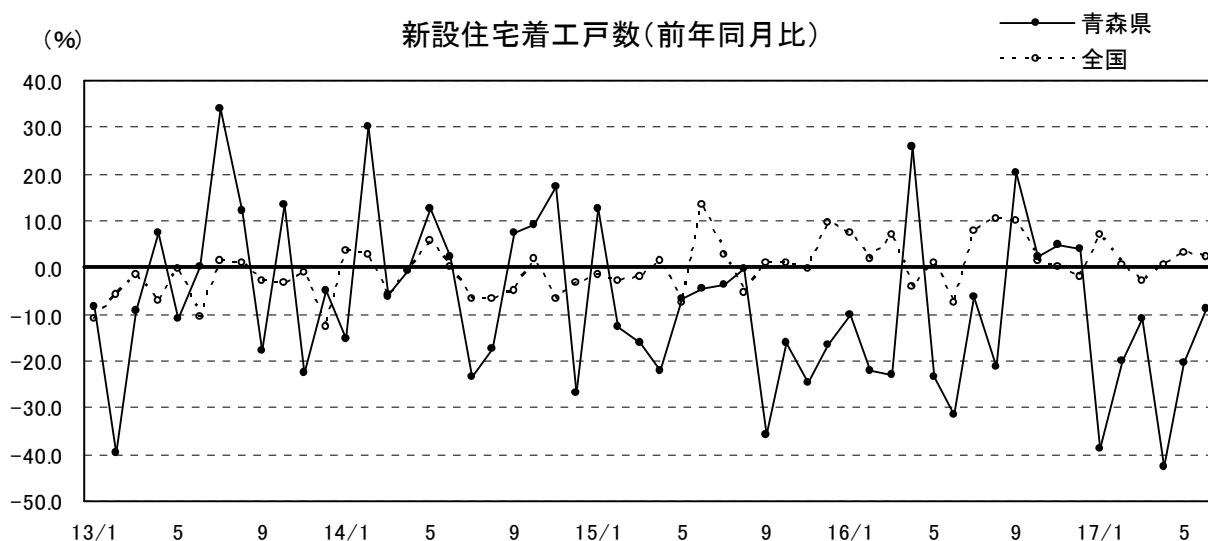
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

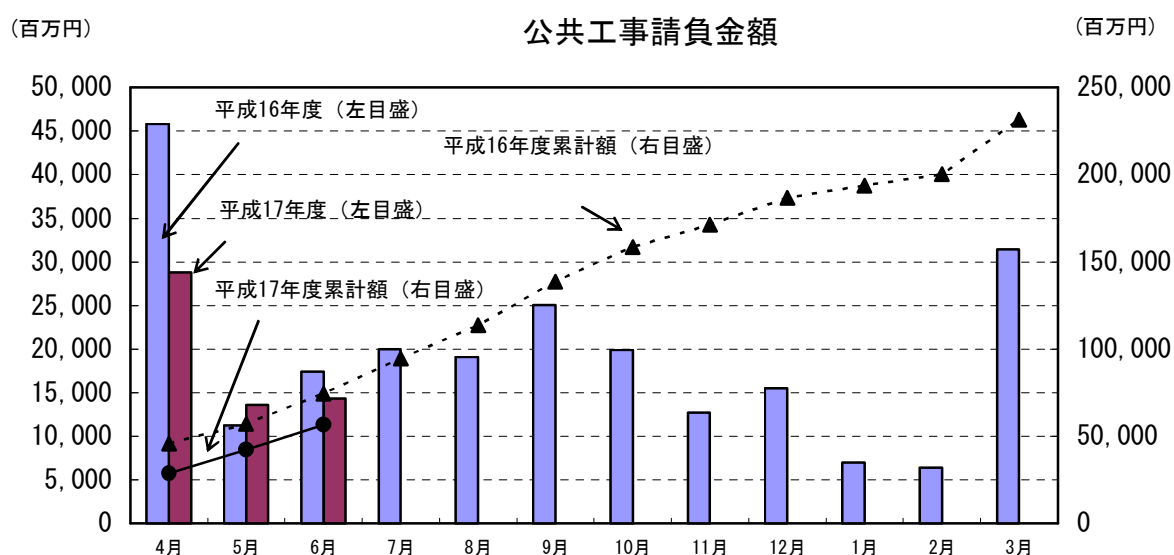
平成17年6月の新設住宅着工戸数は690戸で、前年同月比8.9%減となり、6ヶ月連続で前年を下回った。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 公共投資

平成17年6月の公共工事請負金額は、143億2百万円で前年同月比18.0%減となった。発注主体別では、国が16.3%増、県が5.3%減、市町村が56.8%減、その他が51.6%増となった。また、4月からの累計では23.9%減となっている。



資料：東日本建設業保証(株)青森支店「青森県内の公共工事の動向」

(3) 青森県景気動向指数

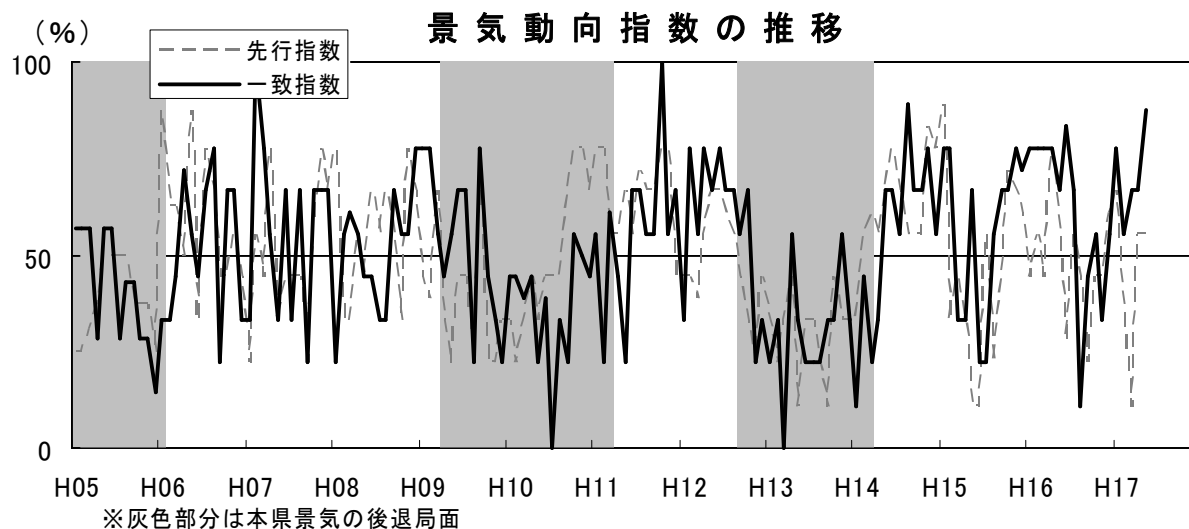
平成17年5月の青森県景気動向指数は、先行指数55.6%、一致指数77.8%、遅行指数33.3%となった。

先行指数は、2か月連続で50%を上回った。

一致指数は、6か月連続で50%を上回った。

遅行指数は、2か月連続で50%を下回った。

5月の一致指数は、消費関連及び生産関連の指標等がプラスとなったことから、50%を上回った。



●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています)

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列 (9指標中5指標がプラス)			
乗用車新車登録届出台数	2か月連続	入職率 (製造業)	2か月ぶり
生産財生産指数	2か月連続	新設住宅着工床面積	5か月連続
新規求人倍率 (全数)	2か月ぶり	企業倒産負債額	3か月連続
所定外労働時間指数 (全産業)	2か月連続	中小企業景況D I	5か月連続
建築着工床面積 (鉱+商+サ)	2か月連続		
一致系列 (9指標中7指標がプラス)			
大型小売店販売額 (既存店)	2か月連続	総実労働時間数 (全産業)	2か月連続
鉱工業生産指数	5か月連続	海上出入貨物量 (八戸港)	4か月ぶり
電気機械生産指数	2か月連続		
大口電力使用量	6か月連続		
有効求人数 (全数)	21か月連続		
東北自動車道IC利用台数	4か月ぶり		
日銀券月中発行高	2か月ぶり		
遅行系列 (6指標中2指標がプラス)			
勤労者世帯家計消費支出 (実質)	2か月ぶり	常用雇用指数 (製造業)	2か月連続
青森市消費者物価指数 (帰属家賃除く)	4か月ぶり	1人平均月間現金給与総額	3か月ぶり
		単位労働コスト (製造業)	5か月連続
		輸入通関実績 (八戸港)	2か月ぶり

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(4) 青森県景気ウォッチャー調査

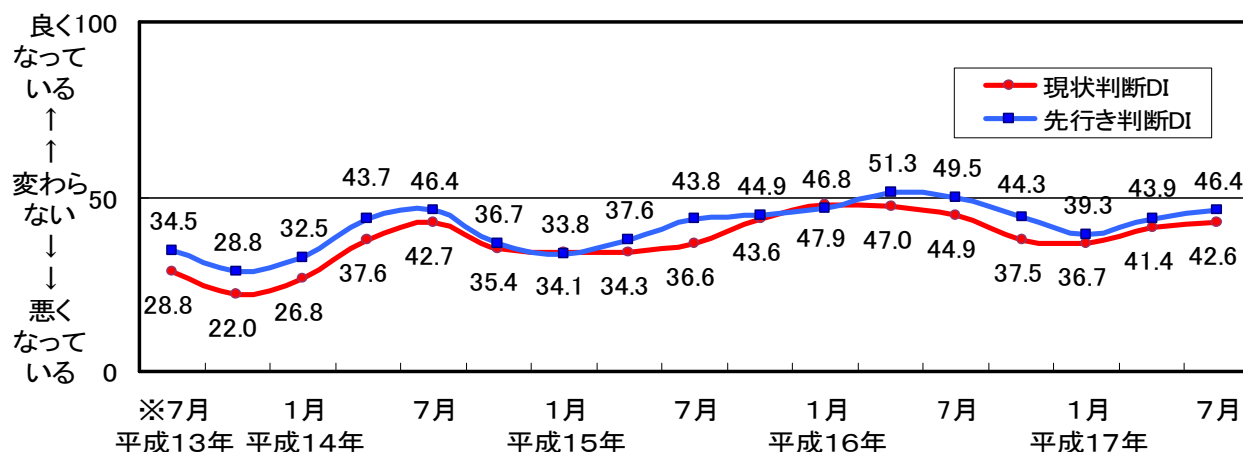
平成17年7月期の景気ウォッチャー調査は、7月1日～7月20日を調査期間とし、回答率98%となった。

3か月前と比べた景気の現状判断DIは42.6で、前期調査より1.2ポイント上回った。

3か月後の景気の先行き判断DIは46.4で、前期調査より2.5ポイント上回った。

7月期は、現状判断DI、景気の先行き判断DIとも2期連続でポイントが増加傾向にあるものの、引き続き横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



※平成13年7月は試行調査

● 3か月前と比べた景気の現状判断

動	<p>前期調査と比べると、「やや良くなっている」が1.1ポイント増加し、「悪くなっている」が1.9ポイント減少していることにより、全体では1.2ポイント増の42.6となり増加傾向が続いているものの、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、ボーナス支給に伴う消費の増が感じられない等、依然として景気の上向き感を感じられないとする声が多数を占める一方、中央の回復基調を受け、県内の雇用にも明るい兆しが見られるようになるのではという期待感をあげる声がみられた。</p>
向	<p>前期調査に比べて、津軽地区で「変わらない」が29.1ポイントと大幅に増加し、「悪くなっている」が13.3ポイント減となっており、全体では9.1ポイントの増加となった。</p> <p>一方、県南地区、下北地区では「悪くなっている」が前期調査と比べ大幅に増加しており、全体ではそれぞれ3.2ポイント、7.5ポイントの減少となった。</p>

● 3か月後の景気の先行き判断

動	<p>前期調査と比べると、「やや良くなる」が5.2ポイント増加し、「悪くなる」が6.0ポイント減少していることにより、全体では2.5ポイント増の46.4となり増加傾向が続いているものの、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由では、増税論や原油価格高騰の影響による先行きへの不安感をあげ、短期間で景気が上向きような好材料や要因が見つからないとする声が多い反面、夏祭り等の集客による売上の増に期待する声が見られた。</p>
向	<p>前期調査に比べて、全ての地区でポイントが増加した。特に県南地区では、企業関連でポイントが大幅に増加したことにより、全体で5.3ポイント増と他の地区より増加幅が大きくなっている。</p>

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

(参考)景気ウォッチャーによる景気判断理由(一部)

● 3か月前と比べた景気の現状判断理由

- 一人当たりの売上点数の増加、又客数の増加から見て。特に、土木作業種の方々の客数が多い。いつも来店されるお客様に聞いてみても、仕事はあるようだ！(コンビニ=県南)
- 派遣人員はわずかながら増加しているが、スポット的要素も含まれ油断出来ない。中央からの景気回復感の浸透と共にプロパーへの切替えを模索している先が増加してきている。(人材派遣=東青)
- 余計なお買い物をしない。大きなものより割高でも中～小サイズ。ムダに注意深くなっている。(スーパー=東青)
- 業界が好転するイベントがない。個人個人が景気に不安をかかえ支出をおさえている。(観光型ホテル・旅館=津軽)
- 公務員のボーナスが支給になるというのに、目立ってお客様が購入するという事は無い。以前であれば賞与特需みたいな話があった。(乗用車販売=県南)
- 仕事量は増えてきているが、材料の値上げにもかかわらず製品への転嫁が許されない雰囲気である。一部の人が正社員の職を得るなどしているが、既存の社員の給料が上がるわけではなく、効果は限定されているように感じる。(電気機械製造=県南)
- △企業が淘汰されつつある。業績が落ちている企業は当然ながら、縮小、廃業を余儀無くされ、多量なりとも体力のあるところは何とか生き残っているのが現状、景気回復はまだまだのようです。(旅行代理店=東青)
- △給与収入の減少(社会保険料の負担増)・預貯金の目減り感に加えて、物余りで unnecessary 消費抑制がはたらき、又、購買意欲をそそる商品もなく、景気はやや悪くなっていると思う。(商店街=県南)
- △お客様より、「油が上がって商品が高くなったように思う」と言われた。色々話をすると、「景気が良くないから、買いひかえしている」と言う。(スーパー=下北)

● 3ヵ月後の景気の先行き判断理由

- 青森県内はともかくとして、全国的には雇用が回復ぎみで、心理的に将来が明るくなっている。加えて、今夏は、暑くなるのが早い。早く暑くなり、早く涼しくなるのが理想。(百貨店=東青)
- 夏休み・お盆で帰省客が増えるし、ねぶた祭りがあるので8月の景気は少し良くなると思う。(一般飲食店=津軽)
- 愛知万博等に集中して青森方面へは足がむいていない。(観光名所=東青)
- 中央の好景気の影響が地方に波及しているのは一部業種だけで、地方全体には感じられない。(ガソリンスタンド=津軽)
- 一般企業のボーナスにも期待はできませんし、継続事業もあまり無いですから、景気は上向かないと思います。中央の好景気はなかなか地方には広まって来ないですね。(一般小売店=下北)
- 特に個人消費が心配です。政府税調のサラリーマンへの増税答申が個人消費の足を引っ張ることになると思う。(食料品製造=東青)
- △原油高騰等の先行き不安もあり、自己防衛感から益々消費がおさえられ、良くも悪くもならないと感ずるが、むしろ悪くなるのではと思う。(商店街=県南)
- △原燃料価格の上昇をこのところの円安ドル高が後押しする形となり、損益面を圧迫しそう。緊急的対応を含めて一層のコストダウンが必要な状況。(紙・パルプ製造=県南)
- ×最大のイベントねぶた祭りが目の前であるが、昨年同様、一人当たりの費用の安い団体(バス)に足を取られる。(例年のねぶた期間の予約激減)(タクシー=東青)

記号の意味:◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、△やや悪くなっている、×悪くなっている

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」